



津山地域

Vol.15

学校再編だより

登米市教育委員会学校再編推進室

令和4年5月発行

TEL: 0220-34-2679

FAX: 0220-34-2504

Mail: gakkousaihen@city.tome.miyagi.jp

第5回津山地域開校準備委員会を開催しました

令和4年4月27日に第5回津山地域開校準備委員会を開催しました。今回の会議では、(仮称)津山小学校の「学校づくりに関する意見集約結果」、「校章の選定方法」、「校歌の歌詞に入れたい単語・フレーズの募集方法」などについて協議・検討を行いました。

「学校づくりに関する意見集約結果」については、前回の会議で確認した各委員の所属団体に集約した意見を、「どのような学校にしたいか(学校像)」、「どのような子どもに育ててほしいか(児童像)」、「小学校に望むこと、重視してほしい教育、取り組んでほしい活動等」の3項目に区分して、開校準備委員会の学校づくりに関する意見として、これらの意見を踏まえて開校に向けた協議・検討を進めることとしました。(集約した意見は、裏面のとおりです。)

「校章の選定」については、デザイン案を津山地域内で募集して選定することとし、次回の会議で詳細な募集要件を決定することにしました。

また、前回の会議で公募することに決定していた「校歌の歌詞に入れたい単語・フレーズの募集方法」については、津山地域内で募集することとし、募集要件を決定しました。

(仮称)津山小学校の校歌の歌詞に入れたい「単語・フレーズ」募集

(仮称)津山小学校の校歌の作詞にあたり、開校準備委員会では、地域みなさんに愛され親しんでもらえる校歌とするため、歌詞に入れたい「単語・フレーズ」を、津山地域内で令和4年5月30日まで募集します。

応募方法の詳細は、応募用紙(この学校再編だよりに合わせて配布するほか、市公式ホームページからダウンロードできます。)でご確認ください。たくさんのご応募をお願いします。

委員の交代がありました

新年度となり、PTA等の組織での役員改選等に伴い、開校準備委員会でも委員の交代がありました。

旧		新	
横山小学校保護者代表	遠藤 貴 委員	横山小学校保護者代表	菅原 和彦 委員
津山中学校保護者代表	高橋 涉 委員長	津山中学校保護者代表	熊谷 康成 委員
津山中学校校長	千坂 佳織 委員	津山中学校校長	佐藤 順子 委員

※ 新委員長には、熊谷康成委員が選任されました。

- ・本紙は、開校準備委員会、学校再編の進捗状況について随時お知らせします。
 - ・学校再編の詳細は、市ホームページに掲載しています。
URL (<https://www.city.tome.miyagi.jp/kurashi/kosodate/kyoikuinkai/saihensebi/index.html>)
- ※ 右のQRコードからもアクセスできます。



(仮称) 津山小学校の学校づくりに関する意見の集約結果

津山地域開校準備委員会において、(仮称)津山小学校の学校づくりに関する各委員の所属団体での意見集約結果等を3つの項目に区分し、開校準備委員会の学校づくりに関する意見としたものです。今後は、これらの意見を踏まえ、開校準備委員会や専門部会での開校に向けた協議・検討を進めていきます。

意見等の区分	意見等の要点
(仮称)津山小学校の学校像に関すること(どのような学校にしたいか)	子どもたちが心身ともに健康で、笑って登校できる学校
	活気ある学校
	分け隔てなく明るく元気な学校
	のびのびと優しい子どもが育つ学校
	いじめが無い、児童・先生・保護者が繋がりが合える学校
	木の町津山を活かした雰囲気のある学校
	木の温もりあふれる学校
	子どもたちが生き生きと学ぶ学校
	あいさつや笑顔あふれる学校
	両校の歴史を忘れないように両校の良い所を取り入れた学校
	家庭、学校、地域が三位一体で取り組み地域に信頼され愛される学校
	安心して通える学校
	地域の伝統や歴史を勉強しながら、自然の中で元気に育てる学校
	(仮称)津山小学校の児童像に関すること(どのような子どもに育てほしいか)
住んでいる地域は関係なく、同じ小学校の児童として切磋琢磨してほしい。	
将来社会に出て、自分の故郷への思いを忘れないように育てほしい。	
明るく元気にのびのびと思いやりのある子ども	
みんなと協力しながら成長していける子ども	
心身ともに健康で、心豊かでたくましく生きる子ども	
友達と自然を大切にできる子ども	
お互いを思いやり、尊重し合う子ども	
人の命を大切にできる子ども	
津山町を誇りに思う子ども	
進んで学ぶ子ども	
(仮称)津山小学校に望むこと、重視してほしい教育、取り組んでほしい活動等	少人数でも一人一人を大切に、子どもたちと向き合ってほしい。
	人の大切さ、教育を受ける大切さ、食べ物がある大切さなど、普通に感じる事ができていることへの大切さを子どもたちに学んでほしい。
	豊かな自然を活かしながらの教育、地域や自然を取り入れた学習活動、机上の勉強では身につかない地域性を生かした体験(農業や林業、地域の産業、文化、歴史)
	横山小学校のみどりの少年団や柳津小学校のふるさと農業少年団のように、自然を愛する、自然を理解する、津山の良さを理解できるような教育
	地域を大切にしながら地域以外への広い視野を持てるような教育、他校との交流、幅広い人材との交流、ボランティア活動
	自主性の育成、学力向上や体力づくり・運動能力の底上げ
	将来の一人一人の自信となるような少人数を活かした特色ある教育(スポーツ・美術・音楽・プログラミング・国際交流など)
	ネットでの授業や向き合ったコミュニケーションの必要性
	柳津小学校と横山小学校のそれぞれの良い所を残し、新入生・在校生が戸惑うことがないようにしてほしい。
	打ち囃子や獅子舞などの横山、柳津のそれぞれの伝統芸能の継承(伝統文化の継承はそれぞれの地域の子どもたちがこれまで同様に行ってほしい。)
	学校、保護者、地域の方々の連携を密にし、共通認識を持つこと
	図書室を今より大きくしてほしい。
	災害、事故、事件等への対策、安心安全な学校生活
	スクールバス利用が増え、徒歩での登校による交通マナーを知らないまま育つ子どもが増えるため、一定の距離を歩く経験を積むことも大切であり、学校までの送迎ではなく支所で乗降させ交通マナーを教えていく。
	スクールバスと保護者の送迎車の乗降場所を区分してほしい。
	学童の充実、子ども会の規模・活動の見直し